



かたぐい



令和5年度
第5号

2023. 4. 21

学校教育目標

夢ふくらませ 心かがやく

「交通安全教室」

21日(金)、交通安全教室が行われました。前日夕方から雨が降り出し、外での歩行練習や自転車練習ができるか心配しましたが、風もなく穏やかな天候の下で、計画通りに実施することができました。

開始前には、西木地区交通安全協会の皆様が、子どもたちの自転車を点検してくださいました。修理等が必要な自転車はありませんでしたが、結構な数の自転車でタイヤの空気圧が不足していました。協会員の皆様が、すべて空気を入れてくださいました。普段から乗車前に子どもたち本人が確認し、不足していたら自分で空気を入れる習慣を身に付けてほしいと感じました。

はじめの会では、西木駐在所の朝野巡查長から、道路歩行時や自転車利用時の安全確保のために重要なポイントをお話していただきました。ご自身の小学生時代の経験を交えながらのお話でしたので、低学年の子どもたちにも、とてもわかりやすかったと思います。

その後は、グラウンドに出て、1・2年は歩行練習、3～6年は自転車練習を行いました。交差点には、実際に信号機(車用・歩行者用)を設置し、コースの要所要所に警察署交通課の方や朝野巡查長、8名の交通安全協会の皆様について指導していただきました。警察官や交通安全協会の方々に見られているという緊張感が、子どもたちの真剣さにつながっていました。

終わりの会では、コースでの様子をもとに「危険」と感じたことについて朝野巡查長からお話がありました。具体的には「横断歩道を押して渡った自転車が、再スタートするとき後方確認を忘れることがある」ということでした。確認せずに自転車にまたがろうとした際に、後方に来た人を蹴ってしまったり、後方から来たバイク等に足をぶつけられてしまうことが実際にあるそうです。子どもたちは、そのお話も真剣に聞き、今後の自身の交通安全のために、学んだことや体験したことを生かしていこうという気持ちをもつことができたようでした。

ご指導くださった警察署、交通安全協会の皆様、そして、自転車運搬などご協力くださった保護者の皆様、本当にありがとうございました。

